

鹿児島県感染症情報

2010年 第13週報 (3月29日~4月4日)

発行：鹿児島県環境保健センター

《感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryo/kansen/index.html>》

手足口病は例年より多い状況が続いています。今後の動向に注意が必要です。

★鹿児島県における手足口病の発生動向と予防対策

例年における手足口病は6月中旬頃から増加し夏季に流行が見られ、本県においては、2000年、2001年、2008年に大きな流行が認められています（p2 参照）。今年の発生状況は、第8週以降徐々に増加がみられ、前週は減少に転じたものの流行の兆しが例年より速く認められています。今週は、前週（105人）より13人多い118人（定点当たり報告数2.15）に再び増加しており、夏季に向けて今後の発生動向には特に注意が必要です。予防対策としては患者に近づかない、手洗いの励行等が必要で、また、患者あるいは回復者に対しても、特に排便後の手洗いを徹底させることが大切です。手足口病は、4歳位までの幼児を中心とした疾患で、症状は、その名が示すとおり、口腔粘膜および手足に現れる水疱性発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、病原体はコクサッキーウイルス A16、コクサッキーウイルス A10、エンテロウイルス 71 (EV71) 等により引き起こされ、基本的には予後は良好な疾患です。しかし、時に急性髄膜炎の合併が見られ、稀に急性脳炎を生ずることもあり、中でも EV71 は、中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いことが知られており注意が必要です。

感染性胃腸炎は減少傾向にありますが、しばらくは発生動向に注意し予防対策に努めましょう。

★鹿児島県における感染性胃腸炎の発生動向と予防対策

今週の感染性胃腸炎は、前週（445人）より38人少ない407人（定点当たり報告数7.40）に減少しています。第5週（定点当たり報告数22.85）をピークに8週連続で減少が認められています。流行のピークは過ぎたと思われるが、今後もしばらくは発生動向に注意して、予防対策（帰宅後・食事前・トイレ後の徹底した手洗い及び食品の保存温度管理）に努めましょう。

上位3疾患以外の定点把握対象疾患では、RSウイルス感染症が2週連続減少しているものの例年よりかなり多い状況が続いています。また、流行性耳下腺炎も前年を上回る報告数が続いていることから、両疾患の今後の発生動向には注意が必要です（p3 参照）。

☆一～五類感染症(全数報告疾病)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核 7例(肺結核3例, 結核性胸膜炎1例, 粟粒結核1例, 肺結核及び結核性胸膜炎1例, 無症状病原体保有者1例), (追加) 第8週 結核 1例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1例, 血清型及び毒素; O157 VT2
四類感染症	発生報告なし
五類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例, (追加) 第11週 後天性免疫不全症候群 1例

☆定点報告疾病の発生状況

・第13週の定点把握対象疾病の総報告数は926人で、第12週より12人少なかった。また、定点当たりの報告数は、感染性胃腸炎、水痘、手足口病の順に多かった（詳細については後述）。

・**流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所

【感染性胃腸炎（開始20.0、終息12.0）】：川薩（13.50）

【水痘（開始7.0、終息4.0）】：出水（6.00）、川薩（5.25）、鹿児島市（5.23）、鹿屋（4.40）

【手足口病（開始5.0、終息2.0）】：川薩（3.00）

・**流行発生注意報**の基準値以上の保健所

【水痘（基準値4.0）】：伊集院（5.25）、始良（4.57）、【流行性耳下腺炎（基準値3.0）】：鹿屋（3.60）

※（数値）は定点当たり報告数

※ アンダーラインは今週基準値以上の保健所

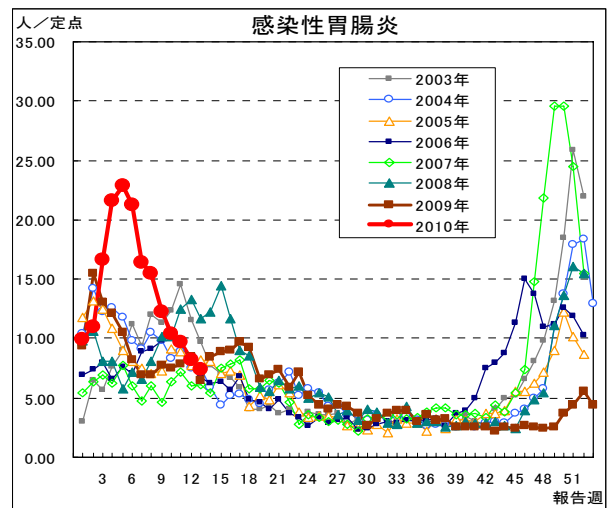
☆定点報告疾病（定点当たり報告数の上位3疾病の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第13週の感染性胃腸炎の報告数は407人で、前週より38人少なく、定点当たりの報告数は7.40であった。この報告数は、第5週をピークに8週連続で減少している。

年齢別では、1歳（91人）、20歳以上（52人）、2歳（45人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所（13.50）、鹿屋保健所（11.80）、志布志（11.33）が多い。川薩保健所は13週連続で流行発生警報の基準値以上である。

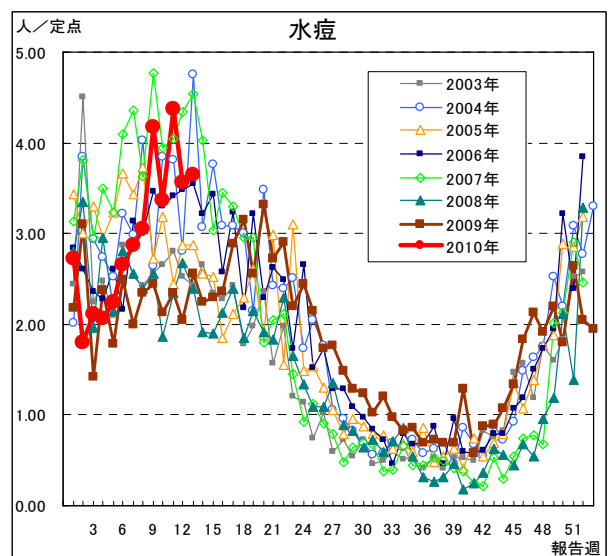


(2) 水痘

第13週の水痘の報告数は201人で、前週より9人多く、定点当たりの報告数は3.65であった。報告数は3週間前から増減を繰り返しているが、前年の同時期より多い報告数で推移している。

年齢別では、1歳（46人）、2歳（40人）、3歳（33人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、出水保健所（6.00）、伊集院保健所と川薩保健所（それぞれ5.25）、鹿児島市保健所（5.23）が多い。鹿屋保健所は8週連続、川薩保健所は7週連続、鹿児島市保健所は5週連続、出水保健所は3週連続で流行発生警報の基準値以上である。また、伊集院保健所は2週連続で、始良保健所は今週から流行発生注意報の基準値以上である。



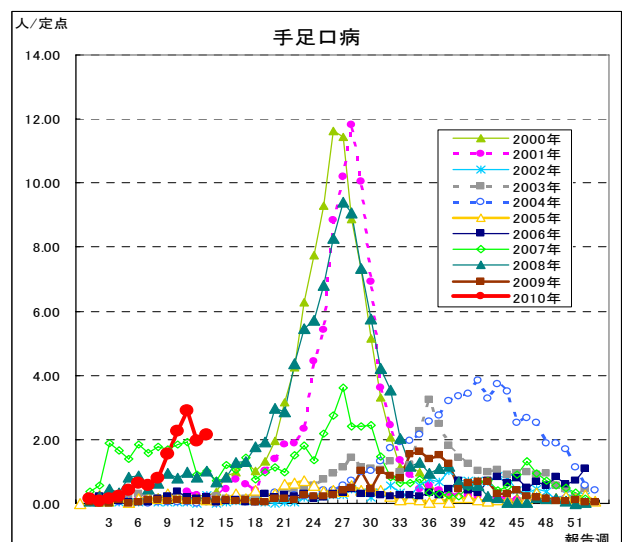
(3) 手足口病

第13週の手足口病の報告数は118人で、前週より13人多く、定点当たりの報告数は2.15であった。第8週以降徐々に増加が認められ、前週はいったん減少したが今週は再び増加している。引き続き今後の動向に注意が必要である。

年齢別では、2歳（39人）、1歳（33人）、3歳（15人）の順に多かった。

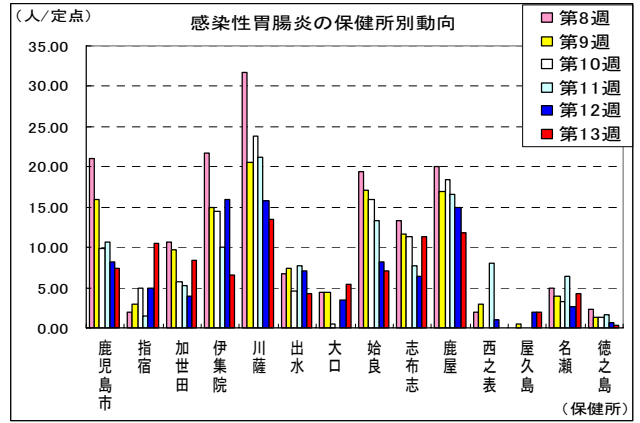
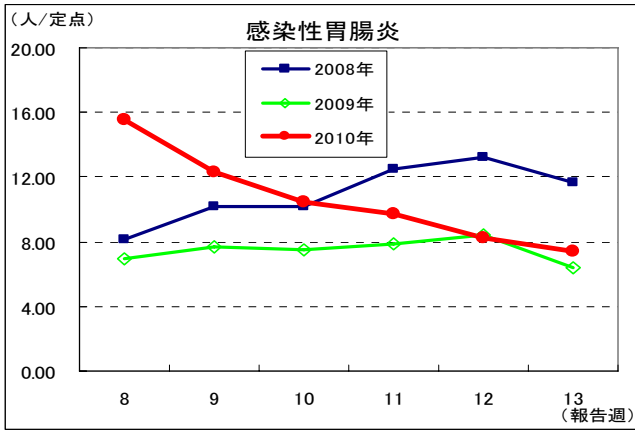
保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（4.08）、伊集院保健所（3.75）、指宿保健所（3.50）が多い。

川薩保健所は4週連続で流行発生警報の基準値以上である。

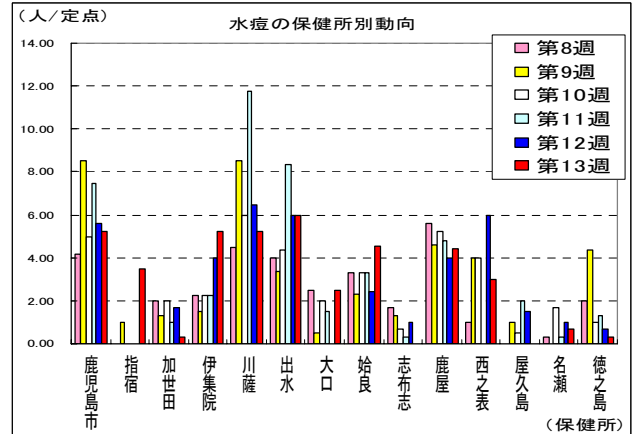
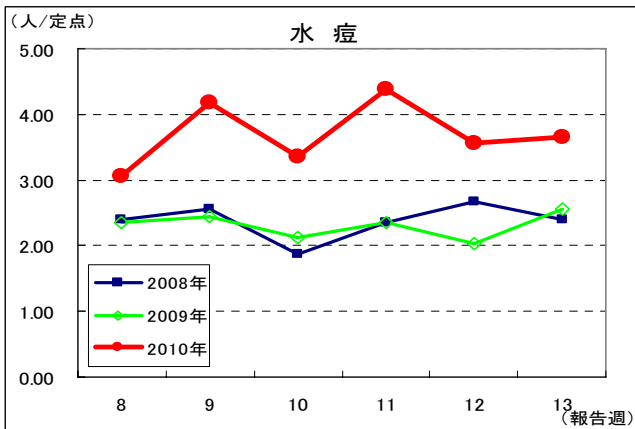


☆上位3疾病の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

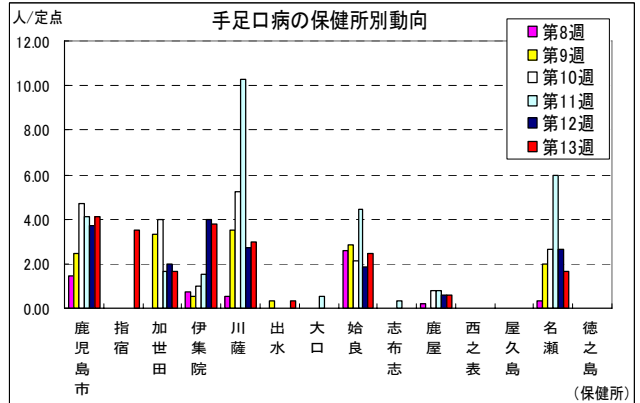
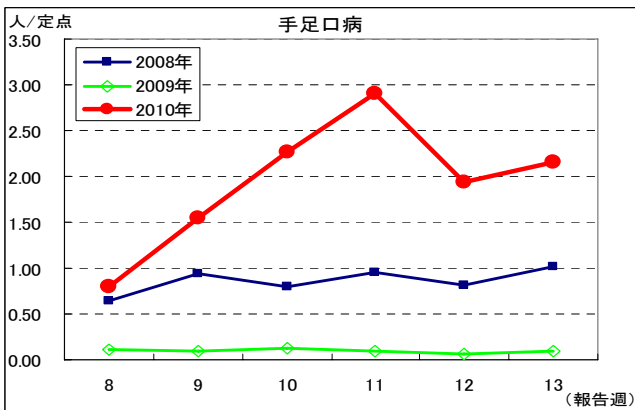
(1) 感染性胃腸炎 (流行発生警報は開始基準値 20.0 以上)



(2) 水痘 (流行発生警報は開始基準値 7.0 以上)

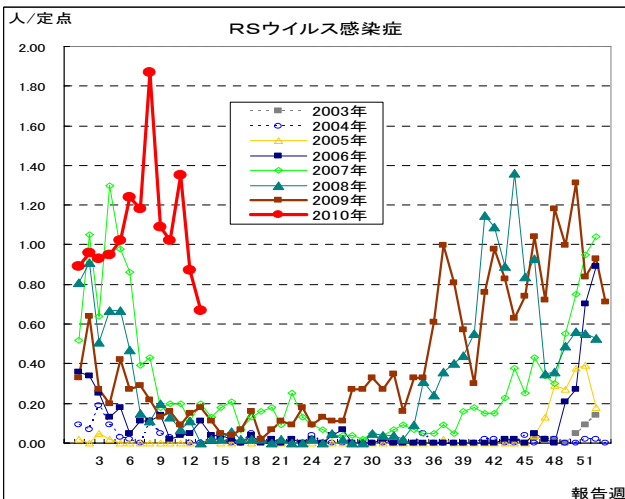


(3) 手足口病 (流行発生警報は開始基準値 5.0 以上)

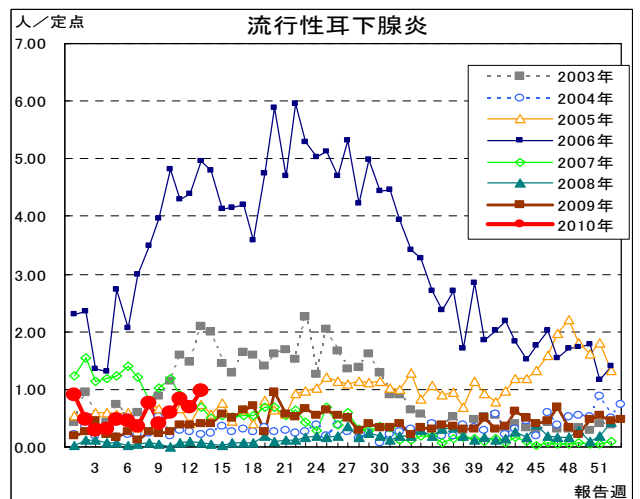


☆注目される感染症の発生状況

★RS ウイルス感染症の発生状況 (鹿児島県)



★流行性耳下腺炎の発生状況 (鹿児島県)



☆定点報告疾病の発生状況

2010年	(報 告 週)	第 13週
-------	---------	-------

定点種別	定点報告疾病	報告数	定点当り	累積報告数 (2010年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	4	0.04	6,036
小児科定点	RSウイルス感染症	37	0.67	771
	○ 咽頭結膜熱	15	0.27	251
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	0.87	927
	感染性胃腸炎	407	7.40	10,073
	○ 水痘	201	3.65	2,123
	○ 手足口病	118	2.15	762
	○ 伝染性紅斑	6	0.11	21
	○ 突発性発しん	20	0.36	314
	百日咳	-	0.00	19
	○ ヘルパンギーナ	10	0.18	57
	○ 流行性耳下腺炎	54	0.98	415
	眼科定点	急性出血性結膜炎	-	0.00
流行性角結膜炎		5	0.71	121
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	0.00	-
	無菌性髄膜炎	-	0.00	2
	マイコプラズマ肺炎	1	0.08	25
	クラミジア肺炎	-	0.00	1
報 告 数 合 計		926		21,918

○印は前週比増

☆5週間前からの疾病別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2010年8週)	4週前 (2010年9週)	3週前 (2010年10週)	2週前 (2010年11週)	1週前 (2010年12週)	今週 (2010年13週)
インフルエンザ	報告数	122	86	57	29	10	4
	定点当り	1.31	0.92	0.61	0.31	0.11	0.04
RSウイルス感染症	報告数	103	60	56	74	47	37
	定点当り	1.87	1.09	1.02	1.35	0.87	0.67
咽頭結膜熱	報告数	31	25	17	26	13	15
	定点当り	0.56	0.45	0.31	0.47	0.24	0.27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	97	109	90	65	56	48
	定点当り	1.76	1.98	1.64	1.18	1.04	0.87
感染性胃腸炎	報告数	853	676	574	536	445	407
	定点当り	15.51	12.29	10.44	9.75	8.24	7.40
水痘	報告数	168	230	185	241	192	201
	定点当り	3.05	4.18	3.36	4.38	3.56	3.65
手足口病	報告数	44	85	125	160	105	118
	定点当り	0.80	1.55	2.27	2.91	1.94	2.15
伝染性紅斑	報告数	1	5	1	2	1	6
	定点当り	0.02	0.09	0.02	0.04	0.02	0.11
突発性発しん	報告数	27	19	23	29	16	20
	定点当り	0.49	0.35	0.42	0.53	0.30	0.36
百日咳	報告数	1	1	8	-	-	-
	定点当り	0.02	0.02	0.15	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	3	8	7	13	6	10
	定点当り	0.05	0.15	0.13	0.24	0.11	0.18
流行性耳下腺炎	報告数	42	22	33	46	38	54
	定点当り	0.76	0.40	0.60	0.84	0.70	0.98
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	12	9	7	6	6	5
	定点当り	1.71	1.29	1.00	0.86	0.86	0.71
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.08	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	1	3	-	2	1
	定点当り	0.17	0.08	0.25	-	0.17	0.08
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	1	-
	定点当り	-	-	-	-	0.08	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2010年13週(平成22年3月29日～平成22年4月4日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	4	0.04	37	0.67	15	0.27	48	0.87	407	7.40	201	3.65	118	2.15	6	0.11	20	0.36
鹿児島市	1	0.04	28	2.15	3	0.23	19	1.46	97	7.46	68	5.23	53	4.08	2	0.15	3	0.23
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	21	10.50	7	3.50	7	3.50	-	-	1	0.50
加世田	2	0.33	2	0.67	1	0.33	-	-	25	8.33	1	0.33	5	1.67	-	-	1	0.33
伊集院	-	-	4	1.00	2	0.50	1	0.25	26	6.50	21	5.25	15	3.75	-	-	1	0.25
川薩	-	-	1	0.25	1	0.25	7	1.75	54	13.50	21	5.25	12	3.00	-	-	1	0.25
出水	-	-	1	0.33	-	-	5	1.67	13	4.33	18	6.00	1	0.33	-	-	1	0.33
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	11	5.50	5	2.50	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	3	0.43	3	0.43	49	7.00	32	4.57	17	2.43	3	0.43	6	0.86
志布志	-	-	1	0.33	-	-	-	-	34	11.33	-	-	-	-	1	0.33	-	-
鹿屋	1	0.13	-	-	5	1.00	9	1.80	59	11.80	22	4.40	3	0.60	-	-	4	0.80
西之表	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	1	0.50	4	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	13	4.33	2	0.67	5	1.67	-	-	2	0.67
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	0	0.00	10	0.18	54	0.98	0	0.00	5	0.71	0	0.00	0	0.00	1	0.08	0	0.00
鹿児島市	-	-	2	0.15	16	1.23	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	-	-	4	2.00	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	5	1.25	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	3	0.43	2	0.29	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	18	3.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2010年13週(03月29日～04月04日)

(インフルエンザ定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ 報告数	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-
インフルエンザ 定点当り	0.04	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.01	-	0.01	-	-	-
(小児科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症 報告数	37	8	10	11	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症 定点当り	0.67	0.15	0.18	0.20	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 報告数	15	-	2	5	1	1	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 定点当り	0.27	-	0.04	0.09	0.02	0.02	0.04	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 報告数	48	-	-	5	10	4	5	3	2	6	4	2	5	-	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 定点当り	0.87	-	-	0.09	0.18	0.07	0.09	0.05	0.04	0.11	0.07	0.04	0.09	-	0.04	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 報告数	407	3	20	91	45	39	32	28	21	18	9	9	32	8	52	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 定点当り	7.40	0.05	0.36	1.65	0.82	0.71	0.58	0.51	0.38	0.33	0.16	0.16	0.58	0.15	0.95	-	-	-	-	-	-
水痘 報告数	201	3	15	46	40	33	26	17	11	4	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-
水痘 定点当り	3.65	0.05	0.27	0.84	0.73	0.60	0.47	0.31	0.20	0.07	0.02	0.04	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病 報告数	118	2	2	33	39	15	10	7	1	2	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病 定点当り	2.15	0.04	0.04	0.60	0.71	0.27	0.18	0.13	0.02	0.04	0.05	0.04	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 報告数	6	-	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 定点当り	0.11	-	0.04	0.02	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん 報告数	20	1	12	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん 定点当り	0.36	0.02	0.22	0.11	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ 報告数	10	-	1	3	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ 定点当り	0.18	-	0.02	0.05	0.04	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 報告数	54	-	-	2	7	6	12	13	8	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 定点当り	0.98	-	-	0.04	0.13	0.11	0.22	0.24	0.15	0.04	0.04	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎 報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	1	-	-	-
流行性角結膜炎 定点当り	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	-	0.43	-	-	0.14	-	-	-
(基幹定点報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎 報告数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎 定点当り	0.08	-	-	-	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く) 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く) 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-